

1 単元名 げんき交流会へ行こう

2 単元について

設立4年目の本学級は、知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2学級で構成され、4年生以外の計10名が在籍している。個々の発達の差が大きく、課題もそれぞれ異なるため、これまで、全体学習やグループ別学習、個別学習と、教科や単元の内容によって効果的に組み合わせ、指導してきた。

生活面では、今年度はようやく異学年集団の良さが表れてきた。自由に動き回る1年生に手を焼きながらも、手本を示したり教えたりしたい気持ちが上級生にわいてきて、上級生をまねて学校生活に慣れてきつつある1年生と、1年生より進んでいる姿に見られたい上級生との関係ができてきた。また、上級生には、世話することの難しさや1年生に頼られる嬉しさを感じながら、少しずつ自分の言動を律する場面がみられるようになってきた。上級生と下級生というそれぞれの関係を通して、子供たちは日々学んでいる。しかし、これも、卒業した子を含め、自分が上級生に世話をしてもらったというよい思いが素地としてあり、昨年度までの積み重ねが良い影響を与えている。

本単元は、6月下旬に開催されるげんき交流会への参加に関連させて設定したもので、学習を通して、「自立」と「自律」、「人との関わり」を学ばせたいと考えている。自立に関しては幅広い取り組みが必要だが、本単元では、げんき交流会での活動に関係する内容を取り上げていく。

さて、自立に関しては、S-M 社会生活能力検査では、「移動」に関する力が全体的に弱い。「目的を持って現地に行き、用を足して帰ってくる」ことがまだ難しい子供が多く、一人で安全に登下校できる子供は3人である。その他は、お迎え場所を徐々に伸ばす練習中の子もいれば、まだ学校に来ること自体を優先して自転車等の送迎の子もいる。地域の遊び場や友達の家で一人で出かける経験はほとんどない。つまり、誰かに連れて行ってもらうことで外出するという実態である。そこで本単元では、リュックを背負って出かける楽しいイメージを持たせ、「自分も行きたい。」という気持ちを持たせたい。また、電車に乗る楽しさをごっこ遊びも取り入れて味わわせ、自分で切符を買う意欲と力を高めたい。お金の学習は算数でも行っていく。

「自分で身の回りのことをすること」については日頃から練習しているが、げんきキャンプで荷物学習をした子は、活動に合わせて必要な物を出し入れする気持ちを持ち、それぞれ上達してきている。そこで、知っていることを示したり教えたりしたい上級生が、下級生に関わっていく場面を作り、自信を持って取り組む場面を増やせるようにしたい。保護者に荷物を預ける気持ちになりやすい1年生については、上級生の姿を見て自分で持ち運ぶ気持ちが持続するだろう。そして、当日は担任や保護者の言葉掛けに頼らず、見通しを持って活動できるよう、事前に「日程」や「交流会のプログラム」についても資料を使って学習する。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」の理解を深めるために、場を設定して練習もしていく。「次は〇〇をするよ。」と、上級生のリードで学級みんなが意欲的に活動する集団を育てたい。

「周りの人と関わる力」を養うことも、これまでに引き続き大事にしたい。他校との交流では、挨拶したりお礼を伝えたりすることも学べるよい機会になる。また、大勢の中で自分の興味のままに動き回るのではなく、仲間意識を持って、まとまって行動することや、自分の意思を言葉や身振りで伝えることも、学校と場所が変わってもやはり同じであることを指導していきたい。

げんき交流会は年1回の特別な行事ではあるが、この単元を通して学ぶことは、誰もが日常生活に生かせる大切な内容である。個々の力を高めることに加え、学級づくりにも役立つようにしたい。また、学校での取り組みだけでなく、家庭と連携を図ることが子供たちの自立と自律に直結するものだと捉え、家庭と密に連絡を取り合って進めていきたい。

3 児童の実態 (◎よい・一人で ○まあまあ・言葉掛けで △指さして・補助が必要 ▲難しい・介助が必要)

	お 出 か け へ の 興 味	集 団 行 動 ・ 集 合	活 動 の 見 通 し	仲 間 意 識	競 技 へ の 参 加	荷 物 の 出 し 入 れ	荷 物 の 持 ち 運 び	着 替 え	自 分 で 食 事	腿 上 に の せ て 食 事	電 車 の 利 用	切 符 を 買 う	お 金 の 理 解	一 人 登 下 校	学習の様子 興味・関心
A児 (1年)	○	▲	▲	▲	○	△	▲	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	見てまねることができるが、今すべき課題や活動から興味が移りやすく、離席が多い。歌やダンスが好き。日直の号令を喜んでする。
B児 (1年)	○	▲	▲	▲	○	△	△	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	自分でやりたい思いがある。マイペースで、周りの様子に気付くのが遅い。思い通りにならないと丸くなって固まることがある。
C児 (1年)	○	▲	▲	○	△	△	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	自分のしたいことや思いがはっきりしている。じっとしているのが苦手。友達のしていることに興味を示してまねることが出てきた。
D児 (2年)	◎	▲	▲	○	▲	▲	○	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	2年生になって、下級生のお世話をしたい気持ちが出てきた。課題の理解や集中の持続が難しいときが多いが、みんなと一緒に学習したい気持ちがある。手先の操作が難しい。
E児 (2年)	○	○	▲	○	○	○	◎	○	○	△	△	△	▲	▲	一生懸命に取り組むが、慣れないことや初めてのことは慎重で、うまくできないことに対しても、気が滅入りやすい。下級生のお世話をしようとする。
F児 (2年)	◎	○	▲	○	○	○	◎	○	△	△	○	○	△	△	自分の思い浮かべる世界に入りやすく、話を聞き漏らしやすい。気持ちが向いているときは、取組みがよい。電車が大好きである。
G児 (3年)	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	気持ちの向け方によって、取組みの差が大きい。情緒面で不安定になることがある。理解力があるが、考えが口をついて出やすいため、ひたすら話していることがある。
H児	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	ほめられたり手本になったりすることを励みにできる。お世話できる自信

H児（3年） 自・情	○見通しを持って活動できる。 ○下級生を活動に誘うことができる。 ○他校の友達に自分からあいさつを交わすことができる。
I児（5年） 自・情	○見通しを持って活動できる。 ○勝手に場を離れず、仲間と一緒に活動できる。 ○気持ちを安定させて活動できる。
J児（6年） 知的	○行き先を理解して電車の利用ができる。 ○学級の集団と一緒に活動できる。

5 指導計画（14時間扱い）

時	主な学習活動	指導や支援の手立て	他教科との関連
1	○げんき交流会について学習の見通しを持つ。 ・げんき交流会とは何か。 ・どんな準備や練習をしたらよいか。 ○リレーの選手を一人選ぶ。 ・チームの色・走る順番を知る。 ・選び方を話し合う。 ・決定する。（補欠も）	・昨年度の写真を見せ、市内の大勢の子供・保護者・教師が集まって、「みんなで楽しく交流する」ことが目的であることを強調する。 ・まだ知らない1年生に教えてあげたいという上級生の気持ちを高めることで、全体の意欲化を図る。 ・暑さが苦手な子が安心できるように、学校の運動会とは違い、涼しい体育館で行われることを伝える。 ・自分でいろいろと取り組むことで、とても楽しくなることを話して聞かせる。 ・競技の最後のリレーは本校が2人（一人はアンカー）走ることを説明し、選手選出の方法や選ばれる子については、子供たちが話し合っって納得のいくように決める。	<u>国語</u> ・ひらがな （A,B,C,D児） ・漢字 （E,F,G,H,I,J児）
2	○「いつ」を確認する。 ○「どこで」を確認する。 ・地図で現在地と会場の場所を調べる。 ・会場まで、どうやって行くのかを話し合う。	・カレンダーに印を付け、あと何日あるのかをみんなで調べることで、「いつ」を印象付けられるようにする。 ・名称を知るだけでなく、会場の遠さに気付けるように、みんなで大きな地図で位置を調べる。 ・徒歩ではとても大変だという思いから、乗り物を利用したほうが便利だと気付けるように、家から学校と、家から会場との距離の比較や、徒歩でかかるおおよその時間と出発時刻を調べさせる。 ・「自分で行く」のキーワードを使い、公共交通機関の利用を意識付ける。 ・公共交通機関の利用のしかたは、これから学習していこうと話す。	<u>算数</u> ・月日、曜日、数 <u>社会</u> ・地図の見方 （G,H,I,J児） <u>算数</u> ・長さ直接比較 （A,B,C,D児） ・長さ間接比較 （E,F,G,H,I,J児） ・時刻と時間 （E,F,G,H,I,J児）
3	○「誰が」「何をする」を確認する。	・とても大勢の人が集まることを説明する。これま	

	<ul style="list-style-type: none"> ・2000人以上。 ・友達ができる。 ・知っている子と再会できる。 ・みんなで楽しく交流する。 <p>○友達になるためにどんなことをしたらよいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔になる。 ・挨拶をする。 ・お礼の言葉(ありがとう等)を言う。 ・カードの交換をする。 等 <p>○他校の友達との関わり方についてロールプレイをする。</p> <p>○わからないことや心配なことはいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き方がわからない。 ・どんなことをするのかわからない。 ・迷子になる子がいらないかな。 ・持ち物をなくさないかな。 	<p>で一緒に交流したことがある学校名を思い出させ、出会いの楽しさを取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の名刺交換をきっかけに、手紙のやり取りをしてわくわくしたことも思い出させる。 ・仲良くするときの表情や態度について、日頃の付き合いから考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードなどは後日作ろうと話し、自分たちの発想が活かされていくことを実感できるようにする。 ・トラブル回避につながる例も示す。交代で役を演じ、互いに気持ちよい関わり方を学べるようにする。 ・わからないことがあることに気付けたことを認め、これから学習していくことを伝える。 ・日程や場所、集合などをよく理解することや、自分の持ち物を自分で管理することが必要だということを今までの上級生のよい例を示して説明し、今後の学習への意欲付けをする。 	
4	<p>○公共交通機関(電車)の利用について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京成電鉄。JR。 ・乗降駅名を調べる。(運賃表・お金) ・切符を買う。(操作手順) ・改札を通る。 ・○番線、○○行を調べる。 ・駅構内や車中のマナーを守る。 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を活用して、現地のイメージ作りに役立てる。 ・個々の課題に合わせて練習の道具や場を設定する。 ・下級生がまねしたくなるように、また、下級生に頼られている心地よさを上級生が感じて意欲的に取り組めるように、上級生が手本を示す場を意図的に多く作る。 	<p><u>算数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃表の見方 ・お金 ・時刻と時間 ・数字
5 6	<p>○公共交通機関の利用について、復習する。</p> <p>○日程をプリントで学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・往路 ・会場での支度 ・開会式 ・プログラム「1・2・3・4・5」 ・昼食 ・遊びの広場 ・リレー ・閉会式 ・帰る支度 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習(切符を買って最寄駅で降りるまでの練習)に取り組む時間を設け、少しでも理解が進むようにする。 ・絵を使ったプリントを用いて、活動内容をわかりやすくする。 ・昨年度までの経験がある子供が、知っていることを説明することで、活動をより意識していけるようにする。 ・「どこで」「誰が」について、みんなで確認する。 ・プログラム「1・2・3・4・5」や「遊びの広場」の内容やルールについては、昨年度の写真も用いてわかりやすくする。 ・他校の友達との交流場面についても説明する。 	<p><u>算数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間

	<ul style="list-style-type: none"> ・帰路 <p>○プログラムで遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びは、内容やルールがおおよそわかる程度にする。わからないプログラムについては、体育の学習や休み時間に練習できることを伝え、安心できるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体育</div> <p>プログラム、遊びの広場の内容について</p>
7	<p>○公共交通機関の利用について、復習する。</p> <p>○持ち物を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リュックサックに入れるもの。 ・学級で用意するもの。 ・使うとき。 ・誰が持っていくのか。 <p>○リュックサックに入れる練習。</p> <p>○めあてを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生から取り組むことで、下級生がまねできるようにする。 ・一日の日程と照らし合わせて、何が必要か、子供たちが考えていくようにし、自分たちの考えで進めている実感を味わえるようにする。 ・不足しているものは何かを考え、準備をする気持ちを持たせる。 ・準備するものを理解することと、自分で準備する意識付けのために練習を取り入れる。 ・より具体的な内容になるように助言する。 	
8 本 時	<p>○交流会に行く練習をする 1。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物 ・電車 ・着替え・トイレ ・集合・開会式 ・競技 ・弁当 ・遊びの広場 ・リレー・応援 ・スタンド・閉会式 ・着替え ・電車 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の日程や活動について、全体の見通しを持つようにする。また、学級全体で、いつ、どんな時にどのように関わっていくのかについても学べるようにする。 ・ポートアリーナでの活動についての学習は次回に多くする。 	
9	<p>○名刺を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったら、名刺交換遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手書き、パソコンどちらで作ってもよいことを説明する。 ・他校の友達との関わりを楽しむ気持ちを持たせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図工</div> <p>カード作り</p>
10	<p>○プログラムで使う道具を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったらルールに従って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技への理解と期待を高める。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図工</div> <p>道具作り</p>
11	<p>○交流会に行く練習をする 2。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物 ・電車 ・着替え・トイレ ・集合・開会式 ・競技 ・弁当 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にうまくいかなかったところや、もっと練習したいと思ったところを課題にして取り組んでいけるようにする。 ・ポートアリーナでの活動中心の練習にする。 ・身の回りのことを自分でする気持ちを引き出す。 ・自分たちのチームの色で待機することや、応援の仕方についても練習することで、気分を高められ 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広場 ・リレー・応援 ・スタンド・閉会式 ・着替え ・電車 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; display: inline-block; padding: 2px 10px;">挨拶</div>	<p>るようにする。また、他校の友達との関わりについても、意識付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当を食べるときは、腿の上に乗せて、落とさないようにすることも練習する。 ・帰り支度をし、自分で荷物を背負って歩いたり、電車に乗ったりして帰ることを1年生が理解できるように、上級生のしていることに目を向けさせる。 	
12 ・ 13	(げんき交流会)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習の成果が発揮できるように、必要とされている場面を見極めて支援する。 	日常生活の指導1 体育2
14	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんだことやよくできたこと。 ・困ったことやできなかったこと。 ・これから頑張りたいこと。等 <p>○知り合った他校の友達とのこれからの関わりについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題を見つけられるよう、学習したプリントを使って振り返らせる。 ・毎日の生活で生かせることを続けていこうという気持ちが持てるようにする。 ・他校の友達からもらった名刺を見て、他校にも友達ができた喜びから、これまでと同じように手紙を出してみたい気持ちを引き出す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国語</div> <ul style="list-style-type: none"> ・作文(口述作文) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図工</div> <ul style="list-style-type: none"> ・絵に表す <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国語</div> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙

6 研究主題との関わり

児童の実態に合わせた支援・指導の工夫～楽しい授業を目指して～

(1) 単元の楽しさを味わわせるために

【げんき交流会へ行くという単元設定】

市内特別支援学級・学校の行事「げんき交流会」への参加を単元として設定する。リュックサックを背負って出かけることや、電車に乗ること、レクリエーション、お弁当などを学習に組み込むことで、子供たちは「楽しいことがあるらしいぞ。」「行きたい。」と心弾ませ、意欲的に学習に取り組めるだろうと考えた。

【見通しを持たせるための指導計画】

「いつ」「どこで」「誰が」「何をする」という内容を明確にする指導計画を立て、子供たちがげんき交流会の日の活動に見通しを持てるようにする。また、児童の興味や実態に合わせて学習を進めることで、自分たちに必要な学習も見通しを持って取り組めるようにしたい。理解を深めるために、場を設定して説明を聞いた後に、練習もしていく。担任や保護者の指示に頼らず、学級みんなが意欲的に活動する姿を育てたい。

(2) できる・わかる楽しさを味わわせるために

【教材や支援の工夫】

○写真や実物の模型・実物の活用

公共交通機関の利用についての学習では、写真や実物の模型を用意する。切符を買って電車に乗る場面の設定をし、教室や廊下に駅の切符売り場やホームの再現をすることで、子供たちがどのように利用すればよいかの練習に役立てたい。案内表示は設置場所を少しずつ変えて、活用する力をつけさせたい。電車は、昨年度末に6年生を送る会の発表で作った愛着のあるものを使用し、ごっこ遊びをしながら楽しく学習できるようにしたい。なお、お金は実際に所持する財布と実物の硬貨を用いてより実践に近づける。

○荷物学習

自分の持ち物を自分で扱い、管理する力をつけるために、実物を用意して荷物の出し入れ練習をする。指さしや言葉掛けなど、それぞれの課題に合わせて、手立ては変える。また、荷物は自分で持ち運ぶことを意識付けるために、荷物を全部入れた後にリュックを背負ってお出かけ気分で校内を歩いたり、椅子に座ってお弁当を腿の上のせて食べることを理解できるように、空の弁当箱をのせて食べるごっこ遊びを取り入れたりする。どれも、楽しい活動として印象付けられるようにする。

○道具作りと遊び

プログラムに使う道具を自分たちで作る、それを使って遊ぶことで、遊びの内容やルールを理解し、参加意識を持たせる。

○みんなで一緒に行う学習（モデル化）

初参加の子供は、手本があることによって安心してまねて学ぶことができ、これまでの積み重ねがある子供は、知っていることを披露したり、知らない友達に教えたりすることで、自信を持って学習を進められると考えた。また、みんなで関わり合う場面を学習に意図的に作って、集団での活動に参加する力を養いたい。

○家庭との連携

学習の意図と子供につけさせたい力について理解を得られるよう、保護者に伝えていく。親を見ると子供が荷物を放り出す、自転車や車に乗せてもらいたがる、荷物の出し入れを親に任せきりになるなどから、子供が少しでも自分でする気持ちを持ち、できることを増やしていけるように、学習の機会を作っていくことを説明し、共通理解を図る。子供同士で高められそうなところは見守り、補助や誘い掛けが必要なことは関わる、そして、子供が意欲を持続できるように、頑張りやできたことを認め、ほめるなど、情報を共有し、連携を図れるようにする。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

(全体目標)

- 楽しく交流会に行く練習ができる。
- 自分の課題に沿って切符を買ったり、荷物の出し入れをしたりすることができる。
- みんなで一緒に活動できる。

(個別目標) ○楽しく交流会に行く練習ができる。

A 児 (1年) 知的	・上級生と手をつないで一緒に移動することができる。 ・自分で荷物を持ち運んだり、切符を買ったりする楽しさを味わうことができる。
B 児 (1年) 知的	・誘われて、みんなと一緒に行動できる。 ・自分で切符を買う楽しさを味わうことができる。
C 児 (1年) 知的	・上級生と手をつないで一緒に移動することができる。 ・自分で荷物を持ち運んだり、切符を買ったりする楽しさを味わうことができる。
D 児 (2年) 知的	・必要なものの名称を聞いて、荷物の出し入れができる。 ・切符を買う操作ができる。

E 児 (2年) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れを考えて行動できる。 ・荷物の出し入れや切符を買うことができる。
F 児 (2年) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れを考えて行動できる。 ・荷物の出し入れや電車の利用ができる。
G 児 (3年) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の見通しを持って行動できる。 ・下級生を誘ったり教えてあげたりすることができる。
H 児 (3年) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の見通しを持って行動できる。 ・下級生を誘ったり教えてあげたりすることができる。
I 児 (5年) 自・情	(本時は移動教室に参加のため、不在。)
J 児 (6年) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の利用の仕方を理解することができる。 ・みんなと一緒に行動することができる。

(2) 本時の展開 (8 / 14)

学習活動と内容	支援の方法 (□全体支援・○個別支援・●評価)	資料
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてと流れを確認する。	<input type="checkbox"/> 単元表で学習への見通しが持てるようにする。 <input type="checkbox"/> 一日の流れを練習することを確認する。 <input type="checkbox"/> みんながげんき交流会にどのような気持ちや態度で参加したらよいのかを尋ね、自分のめあてを持てるようにする。 <input type="checkbox"/> 経験者には、友達がわからないときの関わり方について尋ねる。	単元表 プリント
みんなでげんき交流会に行く練習をしよう。		
2 一日の活動の練習をする。 家を出る <ul style="list-style-type: none"> ・ 検見川駅へ ・ 幕張本郷駅へ (I 児) ・ 学校へ (H 児、J 児) → 担任と検見川駅へ ・ (新検見川駅へ) 電車を利用する ①時刻表 (○時○分発) ②運賃表 (目的の駅と運賃)。 ②切符を買う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>財布からお金を出す。</u> ・ <u>タッチパネルを操作する。</u> (お金を投入 → 子供一人別 → 子供金額 → 切符をとる) 	<input type="checkbox"/> 場の設定や時間の経過については、担任が伝えていき、今はどこで何をしているのかをわかりやすくする。 <input type="checkbox"/> リュックサックを背負うことで、出発の気分を高める。 <input type="checkbox"/> I 児はみんなとは違う駅からの乗車でも平気だと強調し、一人でも頑張れる気持ちをそれぞれに持たせる。 <input type="checkbox"/> (H 児、J 児) 担任と一緒にいくため、学校に登校することを確認する。 <input type="checkbox"/> 朝の挨拶を交わすことで合流した気分を味わえるようにする。 ● 自分の向かう先を理解しているか。 <input type="checkbox"/> 場面が変わったことは伝えるが、子供たちが考えて動いていけるように、細かい指示はできるだけ控える。 <input type="checkbox"/> 駅に着いたら何をするのかわかっている子がしていることに注目させる。 <input type="checkbox"/> (G、H 児) 自分の役割に気付けるように、「さすがだね」「困っている子はいないかな。」などと話しかける。 <input type="checkbox"/> (A、B、C、D 児) 「○○さんは何をしています？」と指差して切符を買うことに気持ちを向けられるようにする。 <input type="checkbox"/> (A、B、C、D、E、J 児) 運賃 (硬貨) の見本を見せて、財布からどのお金を出せばよいかわかるようにする。	リュックサック 京成検見川駅の表示 京成幕張本郷駅の表示 JR 新検見川駅の表示 時刻表 運賃表 切符券売機 切符 お金 財布

<p>・<u>財布をしまう。</u></p> <p>③改札を通過する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切符を改札機に入れて取る。 ・<u>切符をしまう。</u> <p>④○番線ホームに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内表示（千葉）を探す。 ・静かに並ぶ。 <p>⑤乗車する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の場所で静かにする。 ・降りる駅名を確かめる。 <p>⑥降車する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に来た人数を確かめる。 ・案内表示（改札・出口） ・トイレへ行きたい人はいるか。 <p>⑦改札を通過する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切符を改札機に入れる。 <p>⑧ポートアリーナへ向かう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数を確認する。 ・案内表示を探す。 ・安全に歩く。 ・1年生の手をつなぐ。 <p>げんき交流会</p> <p>①学校の席を探す。</p> <p>②着替え、靴の履き替えをする。</p> <p>③トイレに行く。</p> <p>④集合、整列をする。</p> <p>⑤開会式をする。</p> <p>⑥競技・弁当・遊びの広場・リレー</p> <p>⑦閉会式をする。</p>	<p>○タッチパネルは実際の高さにしておき、背が足りない子は、自分で操作できるように担任が抱きあげる。</p> <p>□お金を落としたり、財布の口を閉め忘れていないかみんなできちめ合うように伝える。</p> <p>●それぞれの課題に合わせて切符の購入ができたか。</p> <p>□自動改札のところは、穴に入れた切符を担任が切符を動かし、先で出てくるようにする。</p> <p>□切符の扱いに気付かない子へは、わかっている人が教えてあげるように話す。</p> <p>○人数を確かめている子や、友達と一緒にいこうという子を認め、集団を意識していけるようにする。</p> <p>□わかる子のリードに任せ、インタビューして、選択の根拠や気を付けたことをみんなで共有していく。</p> <p>○2年生以上には、1年生の手をつないで安全に待つことを強調して話す。</p> <p>●（E、F、G、H、J児）行き先を理解して乗り場に向かえたか。</p> <p>□乗車駅までの電車の運行は担任が行う。電車はみんなで動かし、駅名のところで停車していく。アナウンスは担任がする。</p> <p>□車中のマナー（静かにする、リュックサックを周りの人にぶつけない、座席の利用、優先席の扱いなど、みんなが安心して気持ちよく乗ること）について、インタビュー形式で確認する。</p> <p>□みんなで誘い合って降りるように促す。</p> <p>○（A、B、C、D児）電車を降りるときの隙間や、階段をよく見るように話す。</p> <p>□人の流れについていくのではなく案内表示を探すように話す。</p> <p>●（E、F、G、H、J児）案内表示を活用しているか。</p> <p>□切符は入れたら回収されることを確認する。</p> <p>□何をするか忘れていたときには「どこへ行く？」と問いかける。</p> <p>●（E、F、G、H、J児）案内表示を活用しているか。</p> <p>●（A、B、C児）友達と一緒にいく気持ちが持続しているか。</p> <p>●（D、E、F、G、H、J児）下級生を案内する気持ちが持続しているか。</p> <p>□ポートアリーナに着いてからの活動については、次回に学習することを告げ、使う道具の出し入れのみを練習する。</p> <p>○下級生に何をしたらよいか、2年生以上に問う。</p> <p>●会場についてからの活動に見通しを持つことができたか。</p>	<p>運賃の見本</p> <p>自動改札の模型</p> <p>案内表示 1番線 2番線</p> <p>電車 駅名の表示</p> <p>案内表示 (改札・出口)</p> <p>自動改札の模型</p> <p>案内表示 (ポートアリーナ)</p> <p>ポートアリーナの写真 体操服 上靴袋 ゼッケン 19・20 弁当箱</p>
--	--	---

<p>⑧帰りの支度・解散。</p> <p>電車の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きと同様に、切符を自分で買って利用する。 <p>家に帰る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と一緒に。 ・担任と一緒に。(H、J児) <p>3 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反省を発表する。 ・プリントに書く。 	<p><input type="checkbox"/>家に帰るまでがげんき交流会であることを確認する。</p> <p>○(A、B、C児)小学生は荷物を自分で持ち運べることを説明し、頑張る気持ちにつなげる。</p> <p>●(A、B、C児)自分で荷物を持ち運ぼうとしているか。</p> <p><input type="checkbox"/>駅からの帰路も、頑張って歩くように励ます。</p> <p>●駅からの自分の行動を理解しているか。</p> <p><input type="checkbox"/>それぞれの頑張りについてほめ、そのことを友達同士で気付けることこそがよい仲間だということ話す。</p> <p>○(A、B、C、D、J児)絵に印を付けて自己評価させる。</p> <p>●自分のめあてに向かって頑張ることができたか。</p> <p><input type="checkbox"/>2回目の練習の時にはもっと力を発揮したいという思いで、本時を終わるようにする。</p>	<p>切符券売機</p> <p>切符</p> <p>お金</p> <p>駅名</p> <p>電車</p> <p>リュックサック</p> <p>プリント</p>
---	--	---

